

2008年8月6日
イオン株式会社

イオンモール株式会社

埼玉県越谷市に国内最大級の“エコ・ショッピングセンター”が誕生
10/2（木）「イオン レイクタウン」オープン
商業施設面積約22万㎡、565の多彩な専門店やサービス施設が集結！

- ◇ 「イオン レイクタウン」は、2つのSCが融合した環境に配慮した新しい街。
- ◇ 「KAZE」は、“オトナ”をテーマに高感度でトレンド感のある専門店が全214店舗。ビブレ、マルエツ、イオンシネマなどを核に、約350mのモールで結ぶイオングループ初のトライアングルモール。
- ◇ 「MORI」は、核店舗「ジャスコ」や大型ビューティーゾーン、オートモールなど、全351店舗が家族それぞれのこだわりや新しいライフスタイルを提案。
- ◇ 「イオン レイクタウン」は、環境に配慮した最新の技術や仕組みを体系的に取り入れたイオンの“エコストア”。ソーラーパネルによる太陽光発電や省エネルギー器具、再生材の利用など、環境に配慮したSCづくりを行うことにより、同規模SCに比べ20%のCO₂を削減。

2008年10月2日（木）午前9時、埼玉県越谷市に「イオン レイクタウン」（以下、当SC）がオープンいたしますので、ご案内申し上げます。

【イオン レイクタウンの立地】

「イオン レイクタウン」は、埼玉県越谷市において独立行政法人都市再生機構（UR）が進めている新しい街「越谷レイクタウン」の商業拠点として出店するものです。

「越谷レイクタウン」は約40万㎡の広さを有する湖（調節池）の水辺に、約2万2,400人（約7,000戸）が住む集合住宅や戸建住宅、遊歩道、公園など、水辺空間と都市生活空間が融合した、全国でも類を見ない新しい街づくり事業です。当SCは、埼玉県南東部の幹線道路「東埼玉道路」に接しているほか、2008年3月に開業したJR武蔵野線「越谷レイクタウン駅」に隣接し、電車でのアクセスにもたいへん恵まれた立地にあります。

「越谷レイクタウン」は、環境省の推進する「街区まるごとCO₂20%削減事業」（※）初の取り組みを行うなど、「エコ」をキーワードに街づくりそのものが進められています。

当SCは、このまちづくりを構成する主要施設として、地域の皆さまとともにエコを楽しめるコミュニティの場を目指します。

（※）「街区まるごとCO₂20%削減事業」…新規市街地開発や再開発などが行われるエリアにおいて、ディベロッパー、地権者、自治体等が協調し、CO₂の大幅な削減をもたらす対策をエリア全体に導入する事業に対して、環境省が補助する制度。

「イオン レイクタウン」は2006年、他の事業とともに、初の同モデル事業として採択されました。

【イオン レイクタウンのコンセプト】

コンセプトは「シゼンに心地いい、ワタシに心地いい」。

当SCは、人と自然に“心地いい”をコンセプトに開発された、国内商業施設として最大級かつ環境保全に向けた最新の取り組みを行う“エコ・ショッピングセンター”です。さらに、ユニバーサル（誰にでもやさしい）、ウォーカブル（歩きやすい）、コミュニティ（憩いの場になる）を満たすSCを目指し、全てのお客さまに快適な時間と空間をご提供することに努めてまいります。

【SCの概要・特徴】

「イオン レイクタウン」は、「越谷レイクタウン駅」から皆さまをお迎えする場となる「レイクタウンゲート」と2つのエリア（モール型商業施設）から構成されます。ひとつは「**KAZE（風）**」。もうひとつは「**MORI（森）**」です。どちらも、「越谷レイクタウン」を象徴する自然のエレメント（要素）を名称にしました。それぞれのエリアは、2階部分において、ムービングウォーク（動く歩道）が設置された全長85mのセンターブリッジでつながっています。



○「レイクタウンゲート」

「越谷レイクタウン駅」改札口を出てすぐに「イオン レイクタウン」は、お客さまをお迎えします。インフォメーションをはじめ、コンビニや日用品などを販売する店舗を配置しており、レイクタウンゲートから「KAZE」につながります。



イオングループ初の「トライアングルモール」（三角形のモール）に、(株)マイカルが運営するファッション専門店の「ビブレ」と、イオングループSC初出店の(株)マルエツが運営する食品スーパー「マルエツ」、シネコン、家電、スポーツ用品等の大型専門店、そのほか20代・30代の方に人気のある最新のアパレル専門店や飲食店等を中心に構成し、流行の「風」が吹くトレンド発信地を目指します。



1. モール専門店の特徴

「KAZE」は、こだわりのファッションやスーパーマーケット、スポーツ、家電、シネマコンプレックス、情報発信関連などの大型核店舗を三方に配置し、その大型店を約350mのモールで結ぶ、イオングループ初となる「トライアングルモール」となっています。

“オトナ”をテーマに高感度でトレンド感溢れる全214店舗で構成し、地域の皆さまはもちろん、首都圏近郊にお住まいのお客さまにもご満足いただけるような、こだわりの新しいスタイルを提案してまいります。

<1階 オトナの憧れのスタイル>

高感度なファッションから雑貨・食品までをセレクトし、新しい生活スタイルを創造するフロアです。

毎日の生活を彩るこだわりの食品や生活雑貨に加え、湖のほとりに暮らす新しいスタイルを提案するスポーツ専門店やファッション専門店で構成されます。また、オトナを意識したセントラル デリ（フードコート）、書籍やCDレンタルを編集したメディアコンプレックスで展開されます。

- ・核の1つは、ちょっとぜいたくな食のスタイルを愉しむ人のための都市型スーパーマーケットとして、イオングループで初出店となる「マルエツ」を中心に、こだわりのグロッサリー「成城石井」、ベーカリー&カフェの「サンジェルマン」をはじめとして、全国初のスイーツ「ビスイーツ」や、「フロ プレステージ」などで構成いたします。

- ・2つ目は、水辺の暮らしを意識したスポーツライフのゾーン。ここでは、アクションスポーツやアウトドア、アクアマリンなどのギアからウェア、プロユースの展開を行うスポーツエンターテインメントワールドの「ヴィクトリアスポーツモール」を核として導入します。さらに、スポーツの「アディダス ショップ」や、シューズの「SKETCHERS（スケッチャーズ）」、ユニセックスファッションの「リーバイス ストア」、世界の自転車セレクトショップの「ワイズロード」、サーフファッションの「Real Bvoice（リアルビーボイス）」等で構成し、レイクスタイルをサポートします。
- ・3つ目は、書籍を中心に音・映像からカフェまでトータルで情報発信する「TSUTAYA」を配置します。モールでは都市生活者の高感度なファッションを意識し、大人の女性に向けたスタイリッシュなゾーンとして、ブランドショップの「ハピネス」、クール&エレガンス・スタイルの「Luxjewel（ラグジュエル）」、オトナの感性を刺激する「リンクス」などで構成します。
- ・また、自分らしさを大切にする都市型志向のオトナに向けたカジュアルファッションや、雑貨を編集したゾーンでは、アメリカンカジュアルスタイルの「Gap/GapKids」や、ゴルフを切り口とした「エーディライフ」に加え、おしゃれな都心型ライフスタイルを提案する生活雑貨の「VICEVERSA（ヴァイスヴァーサ）」が料理教室併設で構成されます。
- ・セントラル デリ（フードコート）は、『フードライブキッチン』をテーマに、レイクタウンを象徴する湖を中央に配置し、ライブ感溢れるダイニング空間に、13のバラエティ溢れる専門店で構成されます。らーめんの「いちや」や、韓国料理の「金金醬（キムキムジャン）」、ハンバーグ・オムライスの「テキサス キング ステーキ」、ピザ・パスタの「ロッキー ピザ」、ジェラートの「フォレッティ・ジェルッタ」など、大半が新業態の専門店です。



＜2階 憧れの旬なライフスタイル＞

ハイセンスな都市型のファッションから雑貨までを提案し、トレンドを自分なりにコーディネートできるフロアです。

トレンド性や感度の高いレディス&メンズファッションを中心に、アクセサリや雑貨等に加え、日常をデザインするインテリア雑貨、女の子にスポットを当てたこだわり雑貨など、都市型志向のお客さまにも対応できる高感度で個性的なショップで編集されています。

- ・駅からのデッキと繋がる入口部分は“リビング&ダイニング デザイン”をテーマに、インテリア雑貨の「クラスティーナインターファニチャー」、年齢問わず女性に人気の美容サロン「ZELE AVEDA」、今話題のドーナツ「クリスピー・クリーム・ドーナツ」、ショコラの「ゴディバ」等、スタイルのある都会的な暮らしを提案します。
- ・隣接する「MOR I」との接続部分には、核機能の1つとしてヤングファッション専門店の「ビブレ」を中心に、“ヴィンテージ&カルチャーストリート”をテーマにした古着の「LOVE’S WEGO / W」や、ユニセックスファッションの「クイックシルバー」等の専門店を集め、バラエティ性の高いファッションスタイルを提案します。



モールは、3つの編集型ゾーンで構成されています。

- ・ハイセンスなおトナの男女が楽しめる『カップルズセレクト』ゾーンは、ユナイテッドアローズのグループ企業からデビューする新ブランド「COEN（コーエン）」や、バロックジャパンリミテッドの新業態「AZUL by moussy」、大阪発クール&ベーシックの新業態「イーブス」などで構成します。この3店舗はそれぞれ全国1号店としてデビューします。
- ・国内外のファッションをリードするインポート系のブランド中心に構成する『ファッションニュースストリート』ゾーンは、トータルファッションを展開する「ZARA」や、ジーンズファッションの「A | X アルマーニ エクスチェンジ」、アメリカンカジュアルシューズの「STEVE MADDEN（スティーブ・マデン）」、時計、バッグの新業態店となる「フォッシル」、イオングループ初出店となるミラノのネクタイブランド「Andrew’s Ties（アンドリューズ・タイズ）」、アメリカントラッドの「BROOKS BROTHERS（ブルックス ブラザーズ）」等、ハイセンスでスタイリッシュなゾーンを構成します。
- ・ファッション感度の高い男性に向けた『メンズセクション』ゾーンは、S C初出店となるメンズの革小物雑貨の「REDMOON HEAD STORE」やバッグの「サムソナイト」、スーツ系のセレクト新業態の「GOLDBIZ（ゴールドビズ）」で構成します。
- ・中央部分は、“マイフェイバリットルームズ”をテーマに、女の子が大好きなかわいいモノをぎゅっと集めた編集型ゾーンを形成しています。コスメ・バラエティ雑貨の「PLAZA/cuddlesome（プラザ カドルサム）」を核にナチュラルな生活雑貨の「ティアラ」、

京都の和雑貨の「カラコロン京都」、ランプ雑貨の「アンプール」、バッグの「ORGAN ORANGE DRAWERS（オルガン オランジェ ドロアーズ）」等、ほとんどがS C初出店となる専門店で構成し、路面感覚で楽しめるスタイルを演出しています。

＜3 F：ヤングマインドの遊び場空間＞

都会派ヤングの「遊び」を意識した、たくさんの賑わいのある場を提供。それぞれの時間を思い思いに楽しむためのバラエティ感溢れるフロアです。

アミューズメント、都市型家電、シネマコンプレックスを核に、レディース、メンズのヤングファッションを駆ビル感覚で集積しました。

また、プライベートテラスとこだわりの環境を備えたダイニングゾーンで幅広い人の様々なシーンに向けたエンターテインメントゾーンを編集しています。



- ・アミューズメントの「YOU'S LAND（ユーズランド）」、イオンレイクタウンでは唯一のシネマコンプレックス「イオンシネマ」、都市型家電でS C初出店、新業態の「さくらや」をそれぞれの核に配置しています。「さくらや」の周辺には、『オトナホビー』ゾーンを設け、「さくらやホビー」、雑貨の「BINGO（ビンゴ）」等、少し個性的なこだわりを提案しています。
- ・モールは“アクティブカジュアルストーリー”をテーマに、セクシーでキュートなファッションから、エッジの効いた服飾雑貨までを一同に集積。セクシー系の「SWORD FISH（ソードフィッシュ）」、「ワンウェイ」と、カジュアルな「ジーナシス」、「ミスティウーマン」等の2つのラインを集積。また、ヤングファッションを徹底的に楽しんでもらえるよう、スポーツ系でアクティブファッションの「ムラサキスポーツ」、メンズの「レニウム ハイダウェイ」、「PPFM / パープル&イエロー」等のメンズ系ファッションも集積しています。
- ・スカイ ダイニング（レストラン街）は“プライベート”をテーマに、“特別な日”対応ができるこだわりのショップを17店舗集積。湖を望むモールには専用テラスを設け、アメリカンダイナーの「クア・アイナ」や、イタリアンの「TO THE HERBS（トゥザハーブス）」、リゾートダイニングの「BUB'S SURF」を配置しました。中央のゾーンは、室内ながらも緑溢れる環境演出のなかで、鉄板焼・お好み焼きの「がんぼ屋」、寿司の「すし遊落」など、落ち着いて食事ができるこだわりのショップで編集しています。



緑と湖のある新しい街を象徴するように、こだわりや豊かなライフスタイル提案をしていく「MORI」。約500mという国内最長のモールはまるで美しい街を歩くように展開され、訪れることが楽しい専門店が立ち並びます。高感度なファッションやダイニングはもちろん、核店舗の「ジャスコ」のほか、ビューティーゾーン、オートモール、スポーツ&アウトドア、ニューファミリーゾーンなど充実の内容が揃います。また、小川が流れる緑の屋外部分（アウトドライブ）も併設し、環境との共生を意識した“心地いい”空間を目指します。



1. モール専門店の特徴

「MORI」は、“ゆとり暮らし”をテーマに、「ダイニングコンプレックス」や、グループ初となるエイジング関連の集積「HAL（ハル）」、「パパ&ママ&キッズライフフュージョン」などで構成され、ゆとりの街そのものをイメージできるよう屋内と屋外に渡ってモールを展開する、イオングループ初となる「ハイブリッドモール」となっています。

「MORI」は、高感度なライフスタイルを提案する全351店舗で構成されます。

地域の皆さまはもちろん、首都圏近郊にお住まいのお客さまにもご満足いただけるような、こだわりの新しいスタイルを提案してまいります。

<1階 ちょっと贅沢なクオリティライフのフロア>

「上質なオフタイム」を切り口に、まるで街を歩くときに見つけるようなこだわりのクオリティライフを提案します。

・「ダイニングコンプレックス」

6,500㎡の広さで屋内と屋外に跨った一大ダイニングレストランゾーンを展開します。屋内には、札幌から回転寿司&海鮮丼の「北乃四季」、仙台より牛タン炭焼き「利久」、大阪からお好み焼き「ゆかり」、博多よりラーメン「一蘭」など、全国の名店が揃います。

また、水と緑があふれる屋外ゾーンには F1 オフィシャルショップ「F1Pit Stop Café」、パンケーキハウスレストランの「カントリーパンケーキハウス」、イタリアンの「PIZZA SALUVATORE CUOMO」などいずれも話題のレストランが並び、ライブ感たっぷりにお客さまをお迎えします。



・「クオリティカジュアル&グッズ」

ポール&ジョーなどインポートブランドセレクトショップの「ドゥス・ハルモニ・メゾン」、エヴィスジーンズの直営店「EVISU LIGHT」、インポートデニムも注目の「アースミュージック&エコロジー スーパープレミアムストア」、オリジナルバッグの「クロッシングエクラムール・SKR」、アンティーク雑貨も揃えた「ビスコッティ」など全国から注目の専門店がラインナップしています。

・「ホビーライフ」

オートモールには「トヨタモール」に5つのディーラーが集結し、インポートバイクの「MOTO LIFE e-CUBE」は、エコバイクも揃えた注目の専門店です。そのほか愛煙家のための喫煙グッズ&カフェの「ONE SMOKE」、本物志向のステーションナリーを取り揃えた「アンエイム TOKYO-DO」、太陽光発電とオール電化のショールームを展開する「サンリヴェール」、アーバンガーデニングを提案する「インナチュラル」などに加え、大型家電や日本で初めて里親募集コーナーを備えたペットショップなど、訪れる方の嗜好を満たすバラエティに富んだショップが並びます。



・「ライフアップサポート」

「イオン レイクタウン」の目指す高感度なライフスタイルの提案をする、国内初となるワール드의ファッション編集型コンセプトストア「コッコラーレ」、레이크タウンオリジナルの構成となるライフスタイルショップ「ニコアンド」、インポート家具をカスタマイズする「ルームデコ」など、オリジナリティに富んだ新しいライフスタイル提案型ショップとサービスを集約しました。

< 2階 豊かで心地いい“コンフォートライフ” >

“いつもをもっと豊かに”を切り口に、緑と湖のある街での生活への憧れと愛着を発信していきます。

・ビューティーゾーン『HAL』

イオングループ初となる「アンチエイジング」をコンセプトとしたスペシャルゾーン「HAL（ハッピー・エイジング・ライフソリューション）」を展開します。無添加化粧品の「フェアリーハンド」、韓国コスメの「MISSHA」、カスタムオーダーメイドのランジェリー専門店「ブラデリスニューヨーク」、スイスの高級コスメを使用したヒーリングサロン「たかの友梨ビューティークリニック」、ヒーリングカフェを初めて併設したアロマ雑貨「生活の木」などアンチエイジングを切り口に、物販はもちろんカウンセリングやエステをはじめ話題のショップを複合・集積し、約2,600㎡とイオン最大の広さで展開します。

また、併設してグループとして初の本格導入となるビューティのセレクトゾーン「イオンボディ」が約2,800㎡の広さで出店します。

「HAL（ハッピー・エイジング・
ライフソリューション）」



・「ニューコンフォートライフ」

大人志向から考える“ユトリ”を切り口に高感度ファッションやインテリアを提案します。国内初となるインポートセレクトショップの「ルショア」、全国SC初となるブランド「ココディール」、国内ブランドセレクトの「グリーンパークストピック」、暮らしをトータルに提案する「ケユカ」の展開や国内初となるナチュラルインテリア雑貨の「ベターリビングエクレ」、国内外から個性ある雑貨をユニークに揃えた「チェルシーニューヨーク」、メガネにおいて高いクオリティとデザインに定評のある「アーバンセレクトションスタイルアイズ」など、豊かさとこだわりを追求した専門家を全国から集約しました。

・「アクティブライフ（アウトドアスポーツ）」

約12mの高さを有する屋内クライミングウォールを備えた「モンベルクラブ」、ボルコム・MOSS・真空など有名ボードブランドをそろえた「フレアボードショップ」、トレッキング・山登り専門店の「ICI 石井スポーツ」、イオングループの総合スポーツストア「スポーツオーソリティ」などで構成された、国内でも類を見ないアウトドアスポーツ専門店の集積です。

- ・「スマートユニセックスライフ」

マークパウエルをはじめ有名インポートブランドセレクトの「アストア」、アメリカンスタイルのデニムセレクトストアの雄として「ジーンズショップ OSADA」、国内最大級で初のシャツショップを展開する「TOKYO SHIRTS COLLECTION -2812-」や、シューズのトラッドスタイルを提案し続ける「リーガルシューズ」、国内初のテーブルサービスカフェとして大人な空間を演出する「京都小川珈琲」など、本物志向をもつ大人のライフスタイルを多方面から実現した専門店ゾーンです。

- ・「トラベルサロン」

トラベルのゾーンでは、各世代の充実したライフシーンとして欠かせない「旅行」を切り口に、高品質なバッグをセレクトした「サクスバーフェイズ」、トラベル特化型のカルチャー教室を行う「JTB カルチャー倶楽部」、旅行の情報収集を気軽に行えるトラベルライブラリーや旅行関連イベントを行う「トラベルミュージアム」など、次世代の余暇の過ごし方をトータルに提案します。

＜3階 ファミリーをテーマにしたエンジョイライフのフロア＞

「エンジョイライフ」を切り口に、“学ぶ”“遊ぶ”“食べる”“楽しむ”など親子のための新しいコミュニケーション空間を演出しています。

- ・「パパ・ママ・キッズライフ・フュージョン」

国内外の人気キッズブランドを集積した「ストンプスタンプ ブルーレーベル」、
「WEST DRIVE」などのセレクトショップや、「One La Boo」「BABY HOUSE MIKIHOUSE SELECT」「ハーヴィーシェード」など人気ブランドの新業態店舗を揃えました。さらに親子のコミュニケーションスペースとして、たっぷり遊べてウルトラマンにも会える「ウルトラマン シュワッチ！ベース」や、国内初のスヌーピークレープ「Sweets Spot with SNOOPY」、「ディズニーストア」など充実したキャラクターゾーンに加え、親子&ダイニングを展開する「キッズパーラー」、総合写真スタジオ、こども専門美容室など多彩な専門店が充実しています。

また、ファミリー&ヤングカジュアルでは、複合型新業態店舗「ライトオン エディット」や「オブレロ」をはじめ、メンズ雑貨の「ギアズジャム」、ステーションナリー雑貨の「フォルマ」、メンズアンダーウェアの「プレジャーラブ」など、こだわりを持った活動的なスタイルを提案します。

- ・「フードエンターテイメント」

“ふるさとローカルフーズ”と“カジュアルダイニングコート”で構築された「日本の旨い」を提案します。“ふるさとローカルフーズ”では、大阪「せんば自由軒」、名古屋「世界の山ちゃん」、新潟「奈川そば泉」、讃岐うどん「おはな」、横浜「横浜中華街悟空」、佐世保「佐世保バーガーカフェ」等など全国の有名店、名物料理を用意しました。“カジュアルダイニングコート”は、ドバイピザ「アル・ファティール」を初め、デザート

「JEWELRY SWEETS」、ステーキ「カウベルキッチン」など、バラエティに富んだ20店舗と、新しいアミューズメント業態を加えた「食とふれあい」のゾーンです。



・メディア&カルチャーコミュニティ

「サイエンス倶楽部」「ビルド・ア・ベア・ワークショップ」などの体験型ショップをはじめ、SC初出店となる「ポストホビー」や、ホビー専門店「マイスター・バイ・ユザワヤ」、歴史をテーマにしたエンタテインメント型書店の「時代屋」など、親子で楽しめる多彩な専門点を揃えています。

また、「イオン レイクタウン」限定スイーツもあるナムコの新アミューズメント業態や、パパやママをテーマにしたキッズの集積ゾーン、また生活に関わる様々な人気テナントが集積したゾーンなど、誰もが楽しめるよう構成しています。

2. ジャスコレイクタウン店の特徴

ジャスコレイクタウン店は、“ファミリー・ライフスタイル・ストア”をコンセプトに、お客さまのライフスタイルや生活シーンにこだわった新しい売場で、「食（グルメ）」「健康」「美」「趣味」「潤い」をテーマに、楽しくお買い物をしていただける売場を目指してまいります。

<1階 食品とヘルス&ビューティのフロア>

食品フロアでは、和洋スイーツ、銘店、フラワー、リカー、ベーカリーのショップや料理教室「ABC クッキングスタジオ」を展開し、約100席の休憩スペースもご用意しました。

- ・農産売場では、「JAさいかつ」さまのご協力をいただき、新鮮な地場野菜をご提供します。また、地元越谷の生産者の皆さまから、ほうれん草、水菜、長ネギなどの朝採り野菜を毎日ご提供します。
- ・水産売場では、築地直送鮮魚コーナーで、お求めやすいよう旬の鮮魚、加工切身を1切れから販売し、ご注文に応じたオーダーカットも承ります。
- ・畜産売場では、「彩の国黒豚」「彩の国いも豚」など、埼玉県産の豚肉を豊富に品揃えします。
- ・惣菜売場では、魚、豆腐、鶏などを使った和惣菜を強化しています。
- ・H&BC（ヘルス&ビューティケア）コーナーでは、「資生堂」「カネボウ」「コーセー」「ソフィーナ」「マックスファクター」「DHC」「ハウスオブローゼ」に加え、アンチエイジングに対応した「Drシーラボ」「オバジ」の9社でカウンセリング化粧品を展開します。

＜2階 イオンスタイル ストアのフロア＞

- ・団塊ジュニア世代のファミリー、及び人口のボリュームゾーンでもある団塊世代を対象に、レディース・メンズそれぞれの生活シーン別に売場を展開し、コーディネート提案を行っていきます。
- ・「旅行」「健康」をテーマに、キャリーケース、トラベル小物からウォーキングシューズ、帽子など旅行関連商品を総合的に取り揃えたトラベル&ウォーキングコーナーを340㎡の広さで展開します。
- ・レディースでは、サイズニーズにお応えできるよう、小さいサイズコーナー「テュート」や、大きいサイズを扱う「ビーザ」を展開します。

＜3階 キッズと住関連のフロア＞

- ・キッズ売場は、出産準備用品や海外製ベビーカーから子供服、玩具まで一箇所で豊富に取り揃えた「キッズ共和国プラス」をアミューズメントと合わせて3,100㎡の広さで展開します。
- ・子供部屋をコンセプトに、可愛いインテリア用品、寝具、収納用品等を揃えた「キッズルーム」を展開いたします。
- ・ギフトコーナーでは、生活雑貨・ギフト商品を中心に揃えた「コムサイズムホーム」を展開し、リラクシングウェアなど新しい生活提案を込めたギフトのご提案をします。

【「風」「森」「湖」を象徴するマークについて】

「イオン レイクタウン」のロゴは、それぞれの名称を象徴的に描いた「風」（KAZE）と「森」（「MORI」）そして「湖」（調節池）を象徴する「水鳥」の3要素のピクトグラム（絵文字）から構成されています。また、この三角形に配置されたピクトグラムの位置関係は、湖と2つのエリアの実際の位置関係を反映したものになっています。

また、当SCをはじめ今後イオンでは、“エコストア”のSC名称に冠する「AEON」ロゴに緑色を使用してまいります。

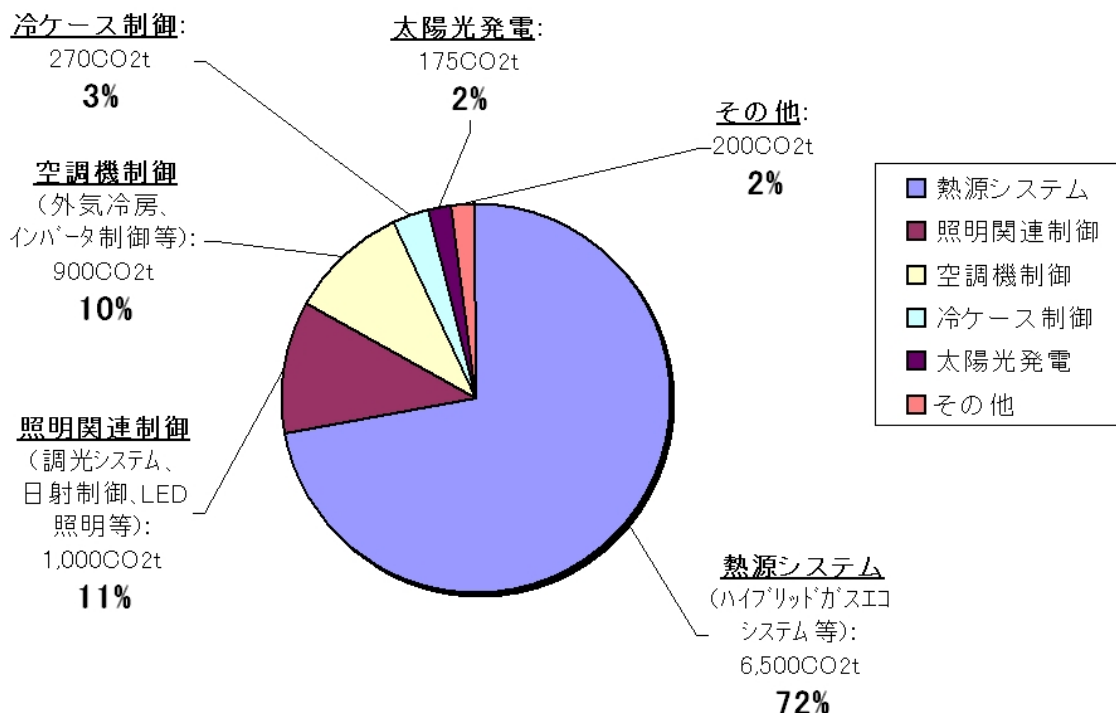


【イオンの“エコストア”の取り組みについて】

当SCは環境に配慮した技術や仕組みを体系的に採用したイオンの“エコストア”です。環境先進国日本を支える国内各メーカーとともに、CO₂排出量の削減や省エネルギーの実現に向けて、新しい試みをふんだんに採り入れています。

ソーラーパネルによる太陽光発電や省エネルギー器具、再生材の利用など環境に配慮したSCづくりを行うことにより、省エネ技術を施さない場合に比べ20%のCO₂を削減します。

9,000CO₂トン（20%）削減 内訳



○取り組みの一例

1. オリンピックプール4面分の広大なソーラーパネルの設置

国内商業施設最大の総面積約4,000㎡に及ぶソーラーパネルを設置し、年間約41万kWhの太陽光発電を行います。ソーラーパネルは主に京セラ株式会社の製品を使用します。

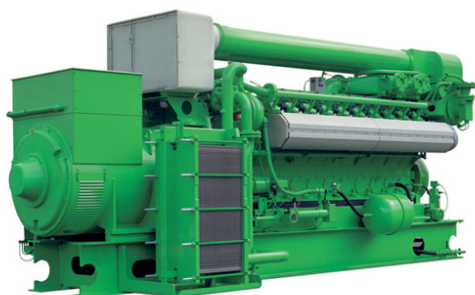
「ソーラーパネル」



2. 国内初の「ハイブリッドガスエコシステム」導入

都市ガスを利用し、従来のエネルギー効率1に対して、約2.6倍ものエネルギーを利用できる画期的なシステムです。株式会社日立製作所による当システムは、都市ガスを利用して発電すると同時に、発電時の廃熱を使い冷熱を利用します。また、発電した電気を高効率のターボ冷凍機に利用することで、より効率のよい施設内冷房が可能となります。

「ガスエンジン発動機」



「ターボ冷凍機」



3. ショッピングセンター全体が「エコアートミュージアム」

当SCでは、訪れるお客さまに「エコ」を身近に楽しんで感じていただくために、「ゴミ」や「再生品」を素材にした作品など、地球や自然の大切さをテーマにした「エコアート」をSC内に常設展示します。国内外のアーティスト12組（予定）が、絵画やオブジェ、写真など、それぞれの「エコ」の視点を盛り込んだ作品で参加します。また、SC内で、お客さまがアーティストと共にエコアートづくりを体験できる「エコアート・ワークショップ」も企画しています。

4. 「未来のエネルギースタンド」 電気自動車の急速充電ステーションを設置

来年予定の電気自動車発売に先駆け、国内商業施設として初めて電気自動車用の急速充電ステーションを1基設置します。また、電動バイク用についても同様に11基設置を予定しています。



急速充電ステーション

お買い物の合間に30分程度の充電で、満充電時の約80%（120km）走行可能な充電ができる予定。

5. シャトルバスに“ハイブリッド”バスを導入

JR「越谷レイクタウン駅」と「MORI」を結ぶシャトルバスには、ハイブリッドバスを導入します。

6. お客さまとともに行う省資源活動

イオンでは、地球温暖化の主たる要因であるCO₂削減に向けて、“お客さまとともに行う省資源活動”を積極的に推進しております。レジ袋の削減の為「マイバッグ」のご利用を促進する買物袋持参運動や、バイオマス包装資材を使用した食品トレー（リデュース）、商品の配送・陳列に繰り返し使えるリターナブルコンテナ（リユース）、店頭でのリサイクル回収（リサイクル）など、常に地球温暖化防止に向けた3R活動を実施してまいります。また、当SCでは9月7日（日）、5,000名の地域の皆さまとともに50,000本の“ふるさとの木”の苗を植樹する「イオン ふるさとの森づくり」植樹祭を予定しています。

【全ての方に快適な時間と空間をご提供する取り組み】

「イオン レイクタウン」は、ハンディキャップをお持ちの方やご高齢の方、妊産婦、幼児連れのお客さまなど、すべてのお客さまに安心してご利用いただけるよう、「バリアフリー新法」の基準に則した建物となっており、“迷わない”“疲れない”“使いやすい”をコンセプトに、誰もが利用可能で有用となるような建物、空間のデザインに努めています。

- ・ 小さなお子さま連れのお客さまには、スムーズにご家族と一緒に授乳やオムツ替えなどができる「ミルクルーム」を設置しています。またお父さんとお母さんが一緒に授乳できるベンチスペースやお母さんのみご利用いただける個室授乳室もご用意しています。ミルクルームの中には、知育玩具やプラネタリウムが装備された「キッズコーナー」があり、小さなお子さまの授乳中、その兄弟の方も時間を持て余すことなく、一緒に楽しい時間を過ごせるよう工夫しています。



ミルクルームの完成イメージ図

- ・ 喫煙スペースも、たばこを吸われるお客さまはもちろん、吸われないお客さまの観点からも従来より「心地いい」空間となることを目指しています。また車椅子の方でも気軽ににお楽しみいただけるような空間設計を行っています。



スモーキング라운ジの完成イメージ図

当SCでは日本たばこ産業㈱とのコラボレーションにより、新しい喫煙スペースの空間づくりを進めています。

- ・AED（自動体外式除細動器）をインフォメーションや警備室などSC内5箇所に設置し、訓練を受けた担当者（SCスタッフ）やお客さまがいつでも緊急の救命措置を行える体制を整えています。
- ・柱・壁・床・天井等の空間部を活用し、建築空間と一体的にデザインした“建築化サイン”を導入することで、必要な情報が視線の中に自然に入るようにしています。
誘導サインには、誰もが直感的にわかるよう、大きなピクトグラム（絵文字）を採用しています。また、ショッピングセンター内の誘導サインは「チャコールグレー」、駐車場の誘導サインは「ブルー」というように、それぞれの役割を色分けし、よりわかりやすくなるように工夫しています。



メインモールから、トイレやミルクルーム、喫煙室等の“リフレッシュエリア”へと続く通路には、光やアロマによる香りの誘導をしています。また硬い床材の一部を柔らかいタイルカーペットに貼り分けた“リーディングライン”を敷設し、特に視覚が不自由な方には、歩いた時の足裏の感触の違いで誘導させていただきます。

- ・ハンディキャップをお持ちの方などにご利用いただけるよう、身障者専用駐車場を117台分設け、そのうちリモコン式専用駐車場を29台設置しています。

【ご参考】

＜植樹本数及びバリアフリー新法認定施設（2008年6月30日現在 イオン合計）＞

- ・植樹本数：832万本（財団法人イオン環境財団が実施する植樹を含む）
- ・バリアフリー新法認定施設：累計544施設

【ソフトオープン】

当SCは、開店時のSC周辺の交通渋滞を緩和するため、また、建設期間中にご協力いただいたSC近隣のお客さまやイオンカード会員さまなどをご招待し、ゆっくりとお買物をお楽しみいただくために、9月26日（金）から10月1日（水）の6日間、ソフトオープン期間として営業いたします。

【SC施設概要】

SC名称： イオン レイクタウン

所在地： 「KAZE」 埼玉県越谷市東町4丁目21番地1
「MORI」 埼玉県越谷市東町2丁目8番地
〔両エリアは約85mの「センターブリッジ（仮称）」でつながります〕

電話： 「KAZE」 048-934-3000〔9月10日（水）以降〕
「MORI」 048-930-7300〔9月10日（水）以降〕

SC運営主体： 「KAZE」 イオンモール株式会社
「MORI」 イオン株式会社

主な核店舗： 「KAZE」 越谷レイクタウンビブレ
マルエツ越谷レイクタウン店
「MORI」 ジャスコレイクタウン店

開店日： 2008年10月2日（木）午前9時グランドオープン
（9月26日（金）午前9時ソフトオープン）
※9月26日（金）～10月5日（日）は全館午前9時より営業します。

営業時間： 越谷レイクタウンビブレ 午前10時～午後10時
マルエツ越谷レイクタウン店 午前 9時～午後11時
ジャスコレイクタウン店 午前 9時～午後10時（1階は午後11時まで）
「KAZE」専門店街 午前10時～午後10時
「MORI」専門店街 午前10時～午後10時
レストラン街 午前10時～午後11時
シネマコンプレックス 午前10時～深夜12時
※ 一部専門店は営業時間が異なります。

休業日： 年中無休
※ 一部専門店は休業日あり

SCマネージャー： 「KAZE」 鈴木 真琴（すずき まこと）
「MORI」 松下 庄治（まつした しょうじ）

ビブレ店長： 野木 正徳（のぎ まさなる）
マルエツ店長： 江浦 優次（えうら ゆうじ）
ジャスコ店長： 北田 稔（きただ みのる）

従業員数： SC全体 約9,000名
※ SC開業にあたり約8,000名の従業員を新たに採用させていただく
予定です。

建物構造： 鉄筋・鉄骨コンクリート造（一部鉄骨造）地上3階建

専門店数： 565店舗

駐車場： 8,200台

駐輪場： 6,200台

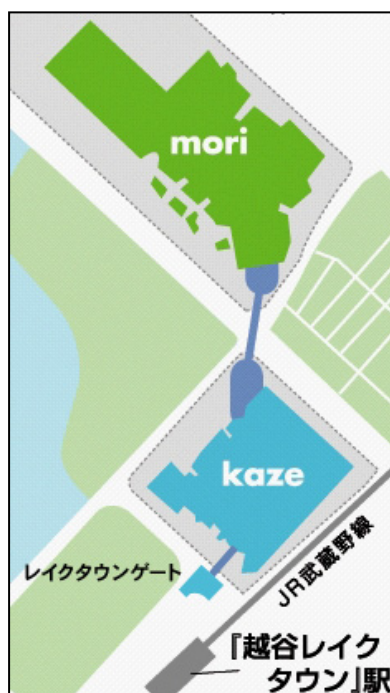
規模： 敷地面積：264,161㎡
建物延床面積：364,843㎡
商業施設面積：218,483㎡
＜内訳＞
「KAZE」 80,736㎡（レイクタウンゲート含む）
うち、ビブレ直営面積 3,527㎡
マルエツ直営面積 2,069㎡
「MORI」 137,747㎡
うち、ジャスコ直営面積 21,918㎡

商 圏： 車30分圏 約330万人、約140万世帯

【イオン レイクタウン周辺図】



【イオン レイクタウン配置図】



※当SCの施設名称、専門店名等につきましては、変更になる場合がありますことをあらかじめご了承くださいませ。

【本件に関するお問い合わせ先】

イオン株式会社 コーポレート・コミュニケーション部
イオンモール株式会社 経営企画部

TEL 043-212-6061

TEL 043-212-6733